

# 雪道での立ち往生に注意！

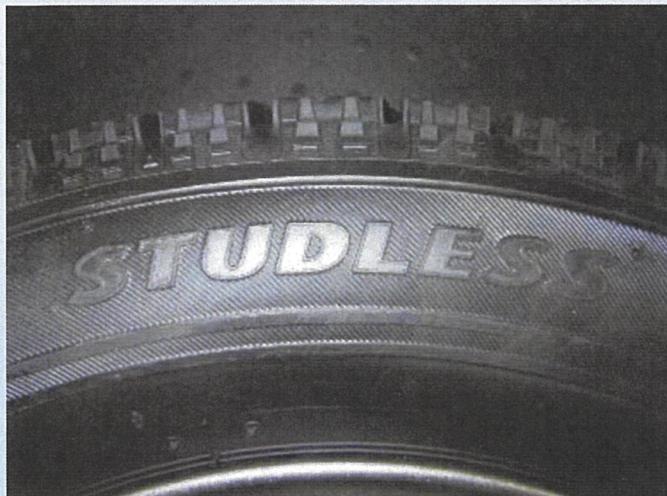
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**とともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

## 冬用タイヤの選び方

- オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で路面と一部接触可能な積雪状況を想定したタイヤです。
- 路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、**スタッダレス表記**(国内表記)又は**スノーフレークマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着してください。**



スタッダレス表記の例



スノーフレークマーク  
タイヤの側面に表示  
されています。

## 冬用タイヤの使用限度

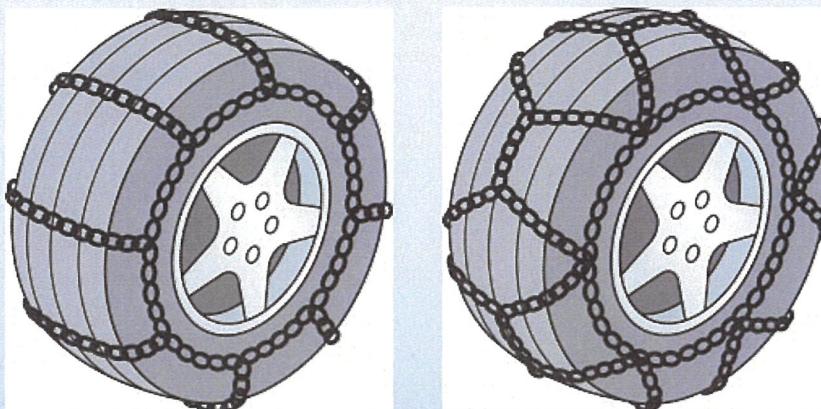
- 溝深さが50%以上残っていることを「**プラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「**プラットホーム**」に達している  
状態。冬用タイヤとして使用できません。

## チェーンの効果

- チェーンを駆動輪に装着すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での発進・登坂性能が向上します。
- チェーンのサイズや締め方が不適切な場合、タイヤとの間に滑りが生じ効果が得られません。



大型車用金属チェーン

## チェーンの携行・装着

- 大雪警報が発表されるなど相当量の積雪が見込まれる場合にはチェーンを携行してください。
- 降雪時には、立ち往生する前に早めのチェーン装着を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

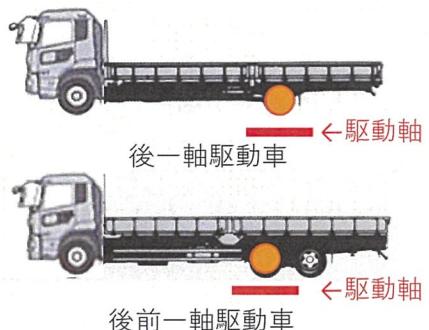
## 性能限界

- 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも性能限界があり、万能ではありません。例えば、車両のバンパーに接触するような新雪の深い積雪路では走行困難です。
- 運行前に道路・気象情報を確認し、運行の可否や経路を検討してください。

# 立ち往生が発生しやすい車両

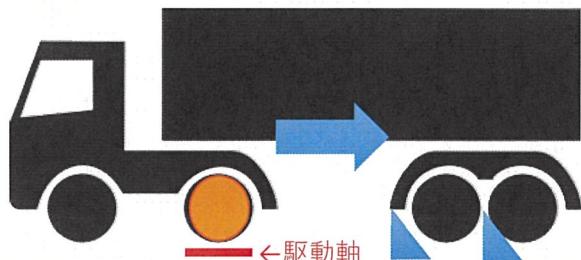
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

## 一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

## 連結車



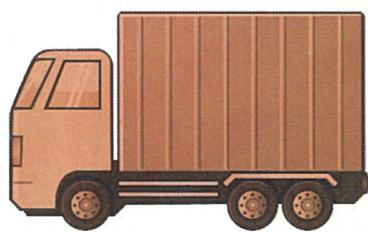
トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

## 空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

## 年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」→  
自動車を安全に使うための注意点を発信  
しています。



国土交通省  
自動車局 審査・リコール課

電話番号：03-5253-8111（内線：42363）  
03-5253-8596（直通）

